学校番号	211

令和5年度　国語科

教科	国語科	科目	古典探究	単位数	3単位	年次	２年次
使用教科書	高等学校　精選　古典探究　（第一学習社）						
副教材	新訂版　読み・解き・覚える「日本文学史必携」（第一学習社） 新訂　常用国語便覧（浜島書店） 新精選　古典文法三訂版（東京書籍） 新精選　古典文法　演習ノート（東京書籍） 入門　句法をマスターする漢文クリアノート（尚文出版） 三訂版　みるみる覚える古文単語 300＋敬語 30（いいづな書店） 新成　古文2（尚文出版）						

1 担当者からのメッセージ

・昨年度言語文化で身に着けた古典分野の基礎知識の定着と深化のための学習をします。
・高校生としてぜひ知っておきたい古文・漢文作品を読み味わいましょう。
・文章記述、話し合い、発表などは主体的に取り組みましょう。
・予習と復習により、学習内容の定着を図りましょう。
・まとまった長さの文章題に取り組むことで、希望する進路にもつながる力を養いましょう。

2 学習の到達目標

【a観点】古典の文章読解のために必要な知識や技能を習得し、作品やその背景に対する理解を深める。
【b観点】論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典を通した先人のものの見方、感じ方、考え方とのかかわりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【c観点】言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
評価の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持とうとしている。
評価の方法	小テスト、定期考査 学習課題の提出	定期考査 発表・報告 行動の観察 リフレクションシート等	学習課題の提出 授業態度 行動の観察 リフレクションシート等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価基準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期30時間	説話を読む 【教材】 「古今著聞集」 「沙石集」	a. 文語文法(主に用言)の決まりについて理解を深める。 a. 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 b. (読)著名な和歌にまつわる話を読み、説話として語りつたえられた背景事情について理解を深める。 b. 古典特有の表現に注意して展開や内容を的確に捉える。 c. (書)作品を読み比べ、共通点や相違点などを積極的に見つけ、まとめようとしている。 c. 学習の見通しをもって主体的に調べ学習に取り組もうとする。	小テスト 定期考査	定期考査 課題	ノート グループワーク 振り返りシート
	随筆を読み比べる 【教材】 「枕草子」 「方丈記」 「徒然草」	a. 主として助動詞について理解を深める。 a. 三大随筆について知識を深める。 a. 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 b. 随筆を通して筆者の考えや時代背景などを理解する。 b. 特に「方丈記」「徒然草」の書かれた時代背景を知り、作品を貫く『無常観』についての理解を深める。 c. (書)作品を読み比べ、共通点や相違点などを積極的に見つけ、まとめようとしている。 c. 学習の見通しをもって主体的に調べ学習に取り組もうとする。	小テスト 定期考査	定期考査 課題	ノート グループワーク 振り返りシート
	言語活動 「清少納言と漢文」	a. 我が国の文化と中国の文化との関係について理解を深める。 b. (読)当時の貴族にとっての漢文の位置づけを理解し、『枕草子』の中での逸話を鑑賞する。 c. (書/話)清少納言と漢文とのかかわりについて積極的に調べたことをまとめ、発表しようとする。	定期考査	課題	グループワーク
	物語を読む① 「伊勢物語」 「大和物語」	a. 主として敬語の基礎について理解する。 a. 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 a. 「歌物語」の特徴について理解を深める。 b. (読)物語の中で和歌が果たしている役割を押さえながら場面と登場人物の心情とを読み味わう。 c. (書)作品を読み比べ、共通点や相違点などを積極的に見つけ、まとめようとしている。 c. 学習の見通しをもって主体的に調べ学習に取り組もうとする。	小テスト 定期考査	定期考査 課題	ノート グループワーク 振り返りシート
	古代の史話 【教材】 「鶏鳴狗盗」	a. 訓読のきまり、句法の基礎について理解する。 a. 語句の量を増やし語彙を豊かにする。 b. (読)戦国時代を背景とした国の状況を押さえ、作中に描かれた孟嘗君の考えや人物像を読み取る。 b. (読)史伝という文章の種類をふまえて、内容の解釈を深め、考察する。 b. (話/聞)考察に基づいて意見を交流する。 c. 積極的に史伝を読み、登場人物の関係を整理しようとしている。	小テスト 定期考査	定期考査 課題	ノート グループワーク 振り返りシート

2学期35時間	物語を読む② 【教材】 「源氏物語」 「大鏡」	a. 主として敬語の使い方について、登場人物の人間関係に基づき理解する。 a作り物語、歴史物語の特徴を理解し、両作品の文学史的位置づけを知り、相互の関連についても知識を深める。 a. 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 b. (読/話)作中の人物造形や心理描写などを読み取り、鑑賞したものを交流する。 c. (書)作品を読み比べ、共通点や相違点などを積極的に見つけ、まとめようとしている。 c. 学習の見通しをもって主体的に敬語表現などの調べ学習に取り組もうとする。	小テスト 定期考査	定期考査 課題	ノート グループワーク 振り返りシート
	言語活動 「源氏物語と政治」	a. 作品の成立背景や他作品との関係をふまえて内容の解釈を深める。 b. 後宮と政治とのつながりに留意し、桐壷更衣の最期や光源氏の政治的立場を調査し、その成果をまとめ、発表する。 c. テーマについて積極的に調べ発表しようとする。	定期考査	課題	グループワーク
	漢文を読む 【教材】 「史記」	a. 訓読のきまり、句法について理解を深める。 a. 語句の量を増やし語彙を豊かにする。 b. 史伝という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確にとらえる。 b. (読)登場人物の描写を読み解くことを通して、戦乱の時代を生きた人々の人物像について考察を深める。 c. 繰り返し音読し、積極的に漢文訓読ができるようにしている。 c. 各場面の展開を整理し、登場人物の言動からそれぞれの心情や性格をとらえ、発表しようとする。	小テスト 定期考査	定期考査 課題	ノート グループワーク 振り返りシート
	韻文を読み比べる 【教材】 「和歌」 「俳諧」	a. 主に和歌の修辞、俳諧の特色について理解する。 a. 我が国の文化の特質について理解する。 b. 三大歌集の成立背景を知り、読み比べることで、和歌の表現の特色についての理解を深める。 b. 和歌の伝統をふまえて成立した近世の俳諧の特色を理解し、次代を追って作品を鑑賞する。 c. 着想や表現方法の時代による変化を理解し、和歌・俳諧を積極的に鑑賞しようとする。	小テスト 定期考査	定期考査 課題	ノート グループワーク 振り返りシート
	言語活動 「韻文を創作する」	a. 韻文の決まりについて理解を深める。 b. (書)学習した韻文の知識をもとに、修辞を用いた作品を創作する。 c. 積極的に創作し、相互に評価しようとする。	定期考査	課題	グループワーク

3学期 15時間	日記文学を読む 【教材】 更級日記 紫式部日記	a. 今までに学習した古文読解のための文法事項についての理解を深める。 a. 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 a. 女性による日記文学の文学史的価値について理解する。 b. (読)晩年になったまとめられた「更級日記」を読み、少女時代の自分を客観的に見つめた作者像に触れる。 b. (読)「源氏物語」の作者が後宮に仕えていた時の日記を読み、その内面に抱いていた思いに触れる。 c. 両作品のつながりにも留意しながら、積極的に日記文学を鑑賞しようとする。 c. 鑑賞した内容について、まとめたり発表したりする。	小テスト 定期考査	定期考査 課題	ノート グループワーク 振り返りシート
	物語を読む③ 【教材】 「平家物語」	a. 今までに学習した古文読解のための文法事項についての理解を深める。 a. 軍記物語という文章の種類や、和漢混交文という古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確にとらえる。 a. 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 b. (読)合戦を主題とした文学作品を読み、争いを背景として生まれた思想や人間のありようを知る。 b(読)「軍記物語」という種類を踏まえ、作品に表れている無常観や武士の生き方を捉え理解する。 b. (話/聞)群読で工夫して作品世界を表現する。 c. 文体や歴史的背景を踏まえて本文を読み、自分の考えを表現しようとする。	小テスト 定期考査	定期考査 課題	ノート グループワーク 振り返りシート

年間の各領域時間数
・書くこと 〔20時間〕
・読むこと〔40時間〕
・話すこと〔20時間〕